

タイ農村部における農家の気候変動適応策に対する意識と実施に関する研究

Research on farmers' consciousness and implementation of adaptation to climate change in rural area in Thailand

○松本京子*, Srisutham M.**, Sritumboon S.***, Ritphring S.****,
木口雅司*, 沖大幹*****

Kyoko Matsumoto, Mallika Srisutham, Supanee Sritumboon, Sompratana Ritphring,
Masashi Kiguchi and Taikan Oki

1. はじめに

気候変動の影響により、極端な気象の増加が引き起こされ、特に自然に依拠する農業は気候変動の影響に対して脆弱であり、農業従事者への影響が懸念されている。これらの被害の防止・軽減を図るため、気候変動への対策（気候変動適応策）が必要とされている。

タイは Eckstein et al. (2018)による気候リスク評価において、世界的に見ても気候変動の影響を受けやすい国の一つである。タイでは気候変動国家適応計画の政策策定は全国レベルで進められているが、現場における実施レベルとは隔たりが存在し (The Thailand Research Fund (2016)), 現場の現状とニーズを把握した上で、適応策実施における優先順位リストと、適応策を採用する方法の開発が求められている (Sakhakara (2017)). 本研究では、気候変動適応策への理解や受容性の向上に資する基礎的な知見を得るため、タイ東北部コーンケン県の農業従事者を対象に、気候変動適応策に対する意識とその実施について明らかにすることを目的とする。

2. 対象地域概要

本研究ではタイ東北部に位置するコーンケン県の 2 村の農家を対象とした (図 1)。タイには約 590 万の農業事業体があり、タイ全世帯の 25.2%を占める。その内、46.4% (270 万) が東北タイに登録されている (National Statistical Office Thailand)。調査地は条件を揃えるため、灌漑設備がなく、土地開発局(Land Development Department)のプロジェクトサイトとなっている隣接する 2 村から 50 世帯の農業従事者を対象とした。

3. 研究手法

本研究では、気候変動や自然災害、それらの対策に関する意識と実施についてアンケート調査を実施した。先行研究を参考に非構造化インタビュー調査を実施し、その調査結果を基

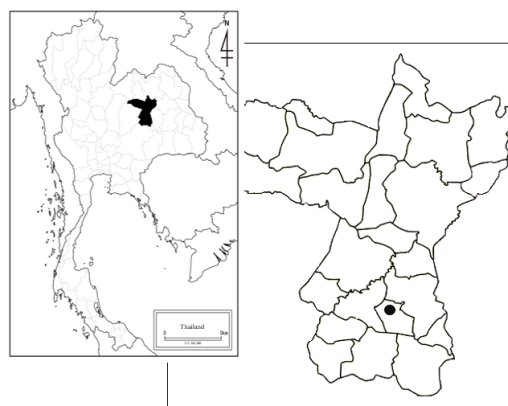


図. 1 コーンケン県における調査対象地
Fig. 1 Location of study area in Khon Kaen province, Thailand

【所属】*東京大学生産技術研究所 (Institute of Industrial Science, The University of Tokyo),
Khon Kaen University (Thailand), *Land Development Department (Thailand),
****Kasetsart University (Thailand), *****国際連合大学/東京大学未来ビジョン研究センター
(United Nations University/ The University of Tokyo)

【キーワード】気候変動適応策, 住民意識, タイ農村部

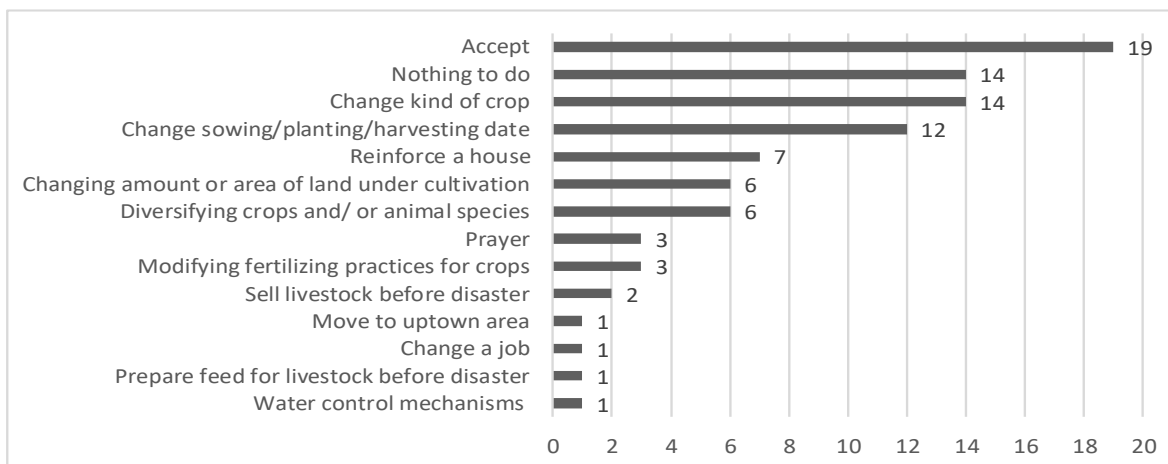


図. 2 適応策の実施に関する回答 (n=50) (複数回答)
Fig. 2 Implementation of adaptation (Multiple answer)

に調査票を英語で作成し、タイ語に翻訳した後、タイ語による対面式調査を実施した。

4. 結果および考察

回答者の属性を表 1 に示す。過去 10 年で地域の気候が変化していると感じると全回答者が回答し、気候の変化や自然災害によって生活スタイルが変化したと回答したのは 39 世帯だった。実施したことがある適応策とその各回答者数を図 2 に示す。気候変動や自然災害により生活変化が起きた場合、「受け入れる」の回答者が最も多く、次に「何もしない」、「作物の種類の変更」、「種まきや収穫時期をずらす」の順に回答が多い結果となった。また、自然災害の発生頻度が増加した場合、適応策を実施する意欲に関しては、「決めることができない」(62%) が最も多く、次に「適応策を実施しない」(30%)、「適応策を実施する」(8%) の順に回答者が少なくなった。

適応策実施の有無の違いは、社会的特性として、村の構成員に対する信頼度が高く、自然災害が発生した場合の政府からの支援に対して信頼度が低い程、適応策を実施している傾向が窺えた。

表 1 回答者の属性 (n=50)

Table 1 Attribute of respondents

項目	回答 (数)
年代	30 代 (1), 40 代 (4), 50 代 (17), 60 代 (15), 70 代 (11), 80 代以上 (2)
性別	男性 (36), 女性 (14)
職業	農家 (50)
最終学歴	小学未満 (4), 小学 (37), 中学 (4), 高校 (4), 大学以上 (1)
宗教	仏教 (50)
出身	調査対象地 (31), それ以外 (19)

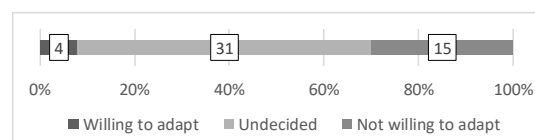


図. 3 適応策実施に対する意欲 (n=50)
Fig. 3 Willingness to implementation of adaptation

【参考文献】

- Eckstein et al. (2018) : Global Climate Risk Index 2019, Germanwatch (<https://germanwatch.org/en/cri>) pp 1-31
- National Statistical Office Thailand : Advanced Report 2013 Agricultural Census (<http://www.nso.go.th/sites/2014en/Pages/Census/Agricultural-Census.aspx>) pp1-8
- Sakhakara (2017) : Thailand's National Adaptation Plan (NAP) Processes. ed Climate Change Coordination and Management Division, et al. (Bangkok, Thailand) pp 1-13
- The Thailand Research Fund (2016) : Thailand's second assessment report on climate change, Ringo Co., Ltd., pp 1-556 (386) (in Thai).